



いよいよもも川中島白桃等の収穫終盤に入りました。極端な日照不足のため、着色不良・果肉先行が顕著な状況です。過熟果が多発しないよう最後まで適期収穫に努めてください。尚、収穫の終了した品種(園地)から次年度へ向けた礼肥や秋季剪定等を実施してください。せん孔細菌病枝病斑（サマーキャンカー）が各地で散見されます。この病斑は秋の台風等で広がり次年度へ越冬源になります。常発園ではボルドー液散布を徹底してください。

◆ りんご着色資材の使用例

- 対象：シナノスイート・ふじ等
- 下記資材は全て定期散布に混用可能です。選択により使用してください。詳しくは担当技術員までお問い合わせください。

商品名	使用目的	倍率	使用時期	500 ^{リットル} 当り 薬剤費	定期散布 農薬 混用
彩色甘味 (おすすめ！) @2,640 円/500g	着色促進 糖度向上	1,000	9 月上中旬・9 月下旬・10 月上旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	2,640 円	可
モーニング エース @4,320 円/500ml	着色促進 品質向上	500	9 月上中旬・9 月下旬・10 月上旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	8,640 円	可
ビビットレッド @1,385 円/1.2 kg	着色促進 品質向上	500	9 月上中旬・9 月下旬・10 月上旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	1,154 円	可
葉友 @72,749 円/20 ^{リットル}	着色促進 品質向上	2,000	9 月上中旬・9 月下旬・10 月上旬 (収穫予定 2 カ月前から 3 回連続散布が効果的)	909 円	可
メリット赤 @19,511 円/20 kg	着色促進 樹勢調節	300	9 月上中旬・下旬・10 月上旬 (収穫予定 2 カ月前から 3 回連続散布が効果的)	1,624 円	可

◆ 使用例

- ① 彩色甘味：9 月上旬・下旬の 2 回連続で定期防除に混用散布 ⇒ シナノスイート等対象
- ② 彩色甘味：9 月下旬・10 月上旬の 2 回連続で定期防除に混用散布 ⇒ ふじ対象
- ③ モーニングエース：10 月初旬・10 月中旬（シルバー敷き前）に 500 倍で 2 回連続散布 ⇒ ふじ対象
- ④ メリット赤：9 月上旬・下旬・10 月初旬に 300 倍で 3 回連続散布 ⇒ ふじ・シナノスイート等対象

次頁もご覧ください

お知らせ

モモ 秋季せん定・せん孔細菌病対策 講習会の開催について

標記の件につきまして下記により開催しますので、皆様のご参加をお願いします。

記

1. 開催日時、集合場所

9月8日（金）	午前11時	南部共選所
9月8日（金）	午後1時30分	平岡事業所
9月11日（月）	午前11時	科野撰果所

2. 内容

- (1) 秋季せん定
- (2) せん孔細菌病対策について
- (3) その他

3. 問合せ先

営農センター 園芸課 23-3933

011

秋季せん定について（切り口には必ず癒合剤トップジンMペースト等を塗布しましょう）

●ねらい

樹冠内部への日照の導入。花芽の充実。樹形の整形。強樹勢の制御。

●切る枝（⇒ノコギリで切るような太枝が中心）

- ①過繁茂になっている部分の向きの悪い内向枝や徒長枝
- ②主枝や亜主枝を負かすような太い枝
- ③日陰を作る不要な枝
- ④更新が必要な大きな側枝

●樹齢・樹勢別のポイント

- ①成木（8年生頃～）で樹勢が強い場合は秋季せん定を実施。樹勢が弱い場合は、冬季せん定中心とする。
- ②若木は、骨格枝の生育を妨げる不要な強勢な枝を間引く程度とする。

●実施時期

9月上中旬

●せん定量の目安

- ①樹冠下に木漏れ日が入る程度。（相対照度20%程度） 樹冠内部の不要な徒長枝を切るだけでも良い。
- ②切りすぎると凍害発生が心配されるため、凍害多発地域では秋季せん定量を少なめにする。（または実施しない）

参考資料：長野県果樹指導指針、信州の果実8月号